

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	KTC放課後等デイサービスはぐぼんclass千種駅北		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 7日		2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2025年 2月 7日		2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成され、支援が行えている。	支援員が固定化されているので、一貫した統一した支援が行えるところ。支援方法については定期的に話し合い、方向性を合わせながら行っている。情報共有も偏りなくスムーズに行っている。さらなるスキルアップや知識、対応力の向上を目指していく。	定期的なミーティングを実施。より方向性を合わせて支援を行っていく。また保護者からのヒアリングの機会も増やし、よりニーズを反映していくようにする。
2	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されている。	季節のイベントなどを開催し、利用者さんに季節感も感じてもらえるようしている。また利用者さんの成長過程により支援プログラムも見直しを柔軟に対応している。	卒所を見据え、社会のルールやモラルマナーなどの慣習などを意識したプログラムをより強化していく。公共交通機関や社会資源などを適切に活用できるプログラムも強化していく。
3	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができている。	来所時に検温や健康観察により日々利用者さんの健康状態を把握している。また連絡帳などを活用し保護者と情報共有し共通理解を行っている。また定期的な面談などで発達状況も情報共有し、共通理解を深めている。	利用者さんの健康観察を怠らず、少しの変化を見逃さないようにする。連絡帳などを活用しこまめに保護者への連絡を行い、連携を図る。発達状況についても結果だけでなく経過にも着目し細かく確認、記録していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなどの家族への支援が行えていない。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援も行えていない。	保護者参加の講演会やイベントなどは行ってきたが、保護者同士の交流、きょうだい同士の交流については、現在利用者さんより要望等がないため実施していない。	今後要望等を多くいただければ、開催を検討していきたい。支援しているところを参観してもらい、一緒に参加してもらい機会なども増やしていきたい。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が少ない。	現在の利用者さんの年齢層などの考慮して、交流の機会を設けてこなかった。	同法人内の学童保育や放課後等デイサービスと連携し、機会を創出していく。また地域連携も強化していく。さまざまな年代の子どもたちと交流する機会も増やしていく。
3	各種マニュアル(事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応等)は策定しているが、保護者に周知・説明が徹底されていない。また、発生を想定した訓練も最低月1回実施しているが、周知されていない。	発信力不足。	各種マニュアル策定について「マニュアル一覧」を作成し、保護者に配布し、現在策定しているマニュアルを伝達する。また面接時等に告知していく。訓練についても連絡帳などを活用し発信力を強化していく。